エコパーク須坂　視察研修（6.12.16）
東黒川区　意見及び質疑応答　要旨

○日　時　　令和６年 12 月 16 日（月）9:50～11:35
○場　所　　エコパーク須坂　須坂市大字亀倉字北ノ山 850 番
○説明者　　長野広域連合環境推進課職員３名
○出席者　　区民 17 名、飯綱町役場住民環境課職員２名

○意見及び質疑応答

	意見・質疑・要望等	回答・説明
1	浸出水処理した水は飲めるのか。	下水道放流基準を満たしているだけ。 年１回下水道の排除基準の 43 項目と月１回４項目、計量事業所での検査を実施している。（広域）
2	砂ろ過した砂はどのように処理するのか。	産業廃棄物として処分している。（広域）
3	地下水の水質検査は実施しているか。	上流１箇所、下流で３箇所と既存の井戸の５箇所で採水し、毎月１回検査をし、年１回最終処分場の維持管理基準などの 29 項目について水質検査を行っている。 結果はホームページで公表している。異常値は検出されていない。（広域）
4	浸出水処理施設の処理能力が１日 60 ㎥、調整槽容量が 3,000 ㎥となっているが、それ以上雨が降った場合はどうするのか。	調整槽が満杯となった場合、埋立地からの浸出水は緊急遮断ゲートを閉鎖し、埋立地で貯留する。過去に調整槽が満杯となったケースが１回あった。（広域）
5	ゲリラ豪雨をもう少し想定した方が良いのではないか。	そういったことも考慮した上で設計していきたい。（広域）
6	二重遮水シートの耐用年数は。	メーカー保証は 15 年。実際には 50 年は対応可能。（広域）
7	漏水検知システムが破損した場合の対応は。	古い施設では 20 年以上運用されているが、不具合は聞いていない。
8	検知システムで漏えいが分かったらどうするのか。	破損した箇所を掘り起こしての対応となる。過去に３回センサーが検知した。 ①　施工時の不良 ②　重機での破損 ③　施工時のキズが圧力等で破れたもの ちなみに同じ箇所が再度破損したケースはない。（広域）
9	埋立面積はエコパーク須坂と比較して大きいのか。	須坂は 16,700 ㎡、飯綱の計画は 18,500 ㎥。飯綱の方が若干大きい。ちなみに中条の計画は

エコパーク須坂　視察研修（6.12.16）
東黒川区　意見及び質疑応答　要旨

	意見・質疑・要望等	回答・説明
		10,700 ㎡である。（広域）
10	埋立容量の比較は。	須坂が 85,000 ㎥、飯綱の計画が 159,400 ㎥で須坂の２倍程度となる。（広域）
11	埋立地に貯留できる雨量はどの程度か。（エコパーク須坂の場合）	高いところで 13ｍ、低いところで 5ｍ（5,000㎜）なので、1,000㎜ 程度の雨量までは問題ない。（広域）